

美しくて明るく豊かなまち田布施

たぶせ

THE TABUSE ASSEMBLY NEWS

議会だより

第108号



題字は岸信介先生書

2011年(平成23年)1月21日

発行/〒742-1592 山口県田布施町大字下田布施 田布施町議会 ☎0820(52)5800 FAX0820(52)5970

編集/議会広報広聴調査特別委員会 印刷/キッショウ株式会社

<http://www.town.tabuse.lg.jp/> E-mail:gikaijimukyoku@town.tabuse.lg.jp



寒風の中 一斉放水 (1月9日)

12月定例会 子宮頸がんワクチン等予防接種に1,587万円 2P

一般質問 ほ場整備等を8人の議員が問う 4P

委員会レポート 11P

議会だより107号を読んだ感想です 13P

12月定例会

子宮頸がんワクチン等予防接種に 1,587万円を予算化



本 会 議 (12月14日)

町長提出議案

22年度補正予算

一般会計

歳入歳出それぞれ9300万円を追加し、予算総額を5億5892万円とするものです。

主な歳入

法人町民税 2000万円増

固定資産税

1040万円増

国庫支出金

1918万円増

主な歳出

国民健康保険特別会計

交付金収入や保険給付費等に係る補正で、歳入歳出それぞれ1億3006万円を追加し、予算総額を17億8239万円とするものです。

【全員賛成】

下水道事業特別会計

繰入金や消費税の増額等による所要の補正で、歳入歳出それぞれ370万円を追加し、予算総額

【全員賛成】

その他

協議

光市道勝間線を本町の区域内に拡幅することについて、光市と協議しようとするものです。

規約の変更

平成23年4月1日より、山口県市町総合事務組合

【全員賛成】

介護保険特別会計

介護予防サービス給付費と高額医療合算介護サービス費の組み替え等による所要の補正で、歳入歳出それぞれ310万円を減額し、予算総額を10億9153万円とするものです。

【全員賛成】

指定管理者の指定

田布施町スポーツセンターの指定管理者の指定期間を平成23年4月1日から平成26年3月31日までの3年間として再指定しようとするものです。

【全員賛成】

工事請負契約の締結

本工事は、麻郷小学校校舎棟改築工事（電気設備）です。

【全員賛成】

城電気工業(株)が地域限定型一般競争入札で落札、契約額6930万円、工期は平成23年10月31日までです。

【全員賛成】

平成22年12月定例会は12月14日から22日までの9日間の日程で開かれました。本定例会では、町長提出議案の補正予算4件、その他4件の合計8件を審議しました。初日の本会議では、8人の議員が一般質問（P4掲載）を行ないました。

新年のあいさつ

熟議を重ね 信頼の議会



副議長 藤山 巖

新年明けましておめでとうございます。さて、社会の少子高齢化への変貌と経済の低迷で、地方自治体は、かつてない厳しい財政状況に

あります。こうした中、私共議会は、自治の担い手としての意識を更に高めるべく研鑽し、熟議を重ねながら町民に信頼される町議会として一層努力してまいります。また、議員一人一人が議員としての使命に徹し、町民の皆様が誇れる「町づくり」に邁進してまいり所存であります。本年も皆様のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

新しい年の初めに

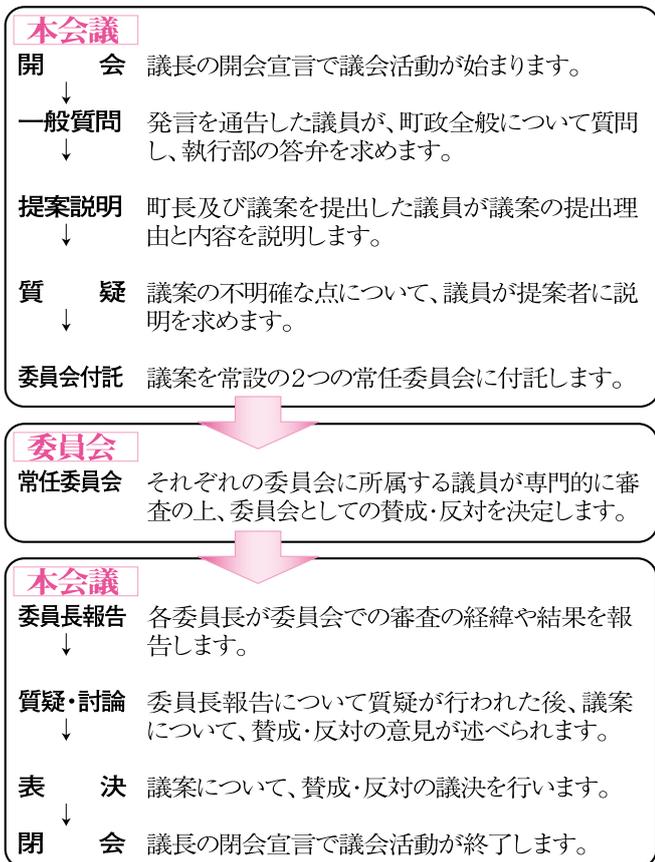


議長 高川 喜彦

新年おめでとうございます。年頭、皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。海国なき船出にたとえられた21世紀の内外情勢は、この10年間、激動と

変革を続け、暗夜の海を漂流する難破船の如く至るところで自家撞着が露になってきました。私は今年「変えてはならないものと、変えなくてはならないもの」との選択に青眼をもつて向き合う決意をしています。議会の活性化に更に努め、財政の健全化と総合計画の策定など、山積する町政の課題に積極果敢に取り組み、住みよい町づくりに邁進いたします。

定例会の流れ



臨時会 (11月25日)

臨時会 (11月30日)

町長提出議案

工事請負契約の締結

麻郷小学校屋内運動場

改築工事です。

麻井建設・公司特定建

設工事共同企業体が公募

型指名競争入札で落札

契約額1億2705万

円、工期は平成23年10

月31日までです。

【全員賛成】

町長提出議案

特別職・議員・職員の12月期末手当等を削減

条例

町長等の給与に関する条

例の改正

期末手当の削減に伴う

ものです。

【全員賛成】

教育長の給与、勤務時間

その他勤務条件等に関する

条例の改正

期末手当の削減に伴う

【全員賛成】

ものです。

【全員賛成】

町議会議員の議員報酬等

に関する条例の改正

期末手当の削減に伴う

ものです。

【全員賛成】

職員給与に関する条例

給与の引き下げ及び期

末・勤勉手当の削減に伴

うものです。



12月定例会
一般質問

ほ場整備等を8人の議員が問う

各課にプレートを

写真・名字入りで 河内 賀寿

検討する

長信町長



河内 賀寿 議員

Q 現在、スーパーマーケットの入口や、県庁の各課のドアには顔写真入のプレートがある。スーパーは名字名前、コメントまである。県庁は、座席位置と名字入りで、臨時職員に至るまで載っている。住民へのわかりやす

いサービスのひとつとして大事であり実施すべき。
A 本町庁舎は、現在、課の業務案内板や、窓口番号の設置で対応している。本町は、平成23年度以降の行政改革大綱を策定している。この中で、



県庁の案内プレート

よりよい行政サービスの提供を重点事項として取り上げているので、分かりやすい職員配置案内板等の設置は、検討する。

子ども議会

開催復活を

河内

十分協議が必要

町長

Q かつて平成11年小学生、12年中学生と、町議会議場を使って子ども議会が開催されたが、その後中止。原因は、前日リハーサル等で、当日、本人達がしらけてしまった事。当時の親の話より。簡素化や工夫で開催復活を。本物の議場で発言する経験は大切では。

A 子ども議会は、子ども達が政治を身近に感じるとともに、まちづくりへの意欲につながっていくが大変意義深い事である。しかし、簡素化にするにしても、学校にお願いする負担は大きく、指導等が参加する一部の児童・生徒に偏る問題等もあり、十分な協議が必要である。



平成 12 年に開催された子ども議会

【A】文化財は試掘調査の結果から推測される遺構や遺物の分布密度、時代、内容等を勘案し、県の指

【Q】現在、国営ほ場整備事業区域において、埋蔵文化財の試掘調査が行われている。どの様な遺物などの程度確認された場合発掘調査が必要か。また一反あたり1千万円位必要となり、試掘面積は約60ha、どの位の面積が発掘調査の対象となり経費が必要か尋ねる。

導、助言等を得て判断される。試掘調査を終え、その分析と工事計画を総合的に判断した後でないこと、発掘調査を必要とする面積、経費等は算出することは出来ない。



波野地区の試掘調査

【Q】我町は、役場をはじめ公共施設にエレベーター等の設備はない。図書館に階段昇降機はあるが知らない人も多い。身障者の人やお年寄りの方で階段の上り下りが困難な人達のために公民館等公共施設に、階段昇降機を設置し、弱者にやさしい町政を願う。

【A】エレベーターの設置が義務付けられているのは6階以上の建築物で経費も高額となる。現在、階段昇降機を設置する計画はないが、利用方法、建築上の問題点や火



図書館にある階段昇降機

公共施設 階段昇降機を 検討する

木本
町長

災害発生時の緊急対策など、設置に関する対応や課題について関係施設や団体等と協議し、検討する。

ほ場整備
発掘調査の面積・経費は
木本 睦博
まだ分からない
尾崎教育長



木本 睦博 議員

調整港

料金の見直しは 木本

考えていない 長信町長



調整港

【Q】調整港は平成18年から、2年間の減免期間の後、現行の使用料になったが、係留隻数も毎年減少し、39隻となった。使用料も料金引き上げにもかかわらず収入減となっている。原因は料金の値上げと、調整港設備の

不備と考える。料金の見直しと施設の改善を問う。
【A】近隣市町においても遊魚船の登録数が減少している。
調整港の使用料の値上げが使用料収入の減少原因とは、一概に言えないと考える。よって料金の見直しは考えていない。施設の改善については、実施なものについては、実施したいと考えている。

井戸水汚染

原因究明したのか 藤山 巖

していない、謝罪す 長信町長



藤山 巖 議員

Q 今年 6 月、水道企業団が行った井戸水の水質検査で、大波野地区の民家

の井戸水から国の基準を 19 倍余りも上回る高濃度のマンガンが検出された。



井戸水汚染 (資料写真)

水道事業

統合・協議会設置は 藤山

考えたい 町長

企業長でもある町長はこの汚染の原因を究明したのか、判れば公表されたい。又、汚染の実態調査はいつ行うのか。

A 井戸水の検査は聞いていた。しかし、その後の報告を私自身しっかり受け止めず、マンガンの検出結果を知らなかったのが本音だ。その点はお断りする。検出した方には十分説明すると共に、近隣の調査も含めて県とも協議し、早急に対応していきたい。

遺跡調査

ほ場整備優先か 藤山

事業遅れても保存 町長・尾崎教育長



田布施平生水道企業団

Q 田布施・平生水道企業団は、平成 12 年弥栄ダムからの給水以降急激に債務が増え、21 年度決算の累積債務は総額 39 億 8900 万円にもなる。そこで、改革の抜本策として岩国市を含む 2 市 4 町等広域事業統合へ向け関係先と県を交えた協議会を設

Q 国のほ場整備事業等の前に、遺跡、遺構の確認調査が行われている。確認調査後は発掘に掛かるが類例のない遺物等が発掘した場合でも事業を優先するのか。それとも保存するのか。埋蔵文化財に対する考えを聞く。又、教育長は調査を教育の上で生かす考えはないか。

A 遺跡の保存には現状保存、地下保存、記録保存等がある。遺跡の状況を十分判断した上で、ほ場整備が多少ずれてでも保

ける考えはないか。
A 昨年から広域統合給水に向け構成団体を訪問して広域化の考え方を説明している。しかし、関係市町で温度差があり、現時点での協議会の設置は困難であると判断している。今後、時期をみて、広域化等の推進に向けた協議会等の設置を考えたいと思っている。

存を考える。子ども達に田布施の歴史を理解させる上でよい機会と考える。条件が整えば日程等を調整し発掘体験を含め、説明会に参加させたい。



遺跡出土品 (資料写真)

TPP参加問題

町への影響は

国永美恵子

影響は計り知れない

長信町長



国永美恵子 議員

Q 政府は環太平洋連携協定(TPP)参加検討を表明した。山口県知事はTPP参加の場合、農生産額は340億円減になると試算を示した。

A 農業は国土と環境を守る多面的役割も有り経済効率だけで判断できない。参加問題の町長見解と本町への影響を尋ねる。

A 農業は地域振興や雇用等、重要な基幹産業。TPPに参加した場合、安価な外国産農産物が大量

荒廃農地

対策は

国永

ほ場整備と意向調査 町長

流入し、価格破壊で日本の農業が衰退の一途をたどる可能性が高い。

本町は稲作が主体であ

り影響は計り知れない。政府は農林漁業再生を責任持ち実現すべきだ。

環太平洋連携協定(TPP)とは

貿易自由化を目指す経済的枠組み。工業製品や農産品、金融サービスなどをはじめとする、加盟国間で取引される全品目について関税を原則的に100%撤廃しようというもの。

Q 国営ほ場整備事業を中心に町内の荒廃農地解消ができるとは考えにくい。

A 荒廃農地解消は国の農業政策が大きく影響する。

町内不在の農地所有者、農家の高齢化、鳥獣被害、あまりにも安い生産者米価と課題は山積している。

A 荒廃農地解消への具体策を尋ねる。

A 国の対策に基づき耕作放棄地全体調査を実施。新年度着手予定の国営

緊急農地再編整備事業で本町の約72ヘクタールの耕作放棄地が解消する。残る耕作放棄地は所有者等の意向調査で耕作再開の意志の無い農地は担い手を中心とした農業利用の促進を図りたい。



荒廃農地

スポーツ

健康づくりの成果は 国永

示せない

町長

Q 町長はスポーツを通じて健康づくりを言われており、今回の選挙公約にも健康づくりの提言がある。この健康づくりは医療費抑制等の成果が得られたか。また、参加しない人の対応はあるか。

A 将来に向かって予防的なもので医療費等、目に見えた成果は示せない。

総合型地域スポーツクラブ数の増加でスポーツに参加する機会が得られる。スポーツまつりの開催で啓発ときっかけづくりに努力する。食育の推進と健康相談等の積極活用をねがう。

スポーツ以外の健康づくりも大事。この対策を尋ねる。



スポーツプラン

防火水槽について

点検清掃は

清神 清

点検は消防署、清掃は地元 長信町長



清神 清 議員

Q 12月3日未明瀬戸区で民家の納屋が全焼した。近くに防火水槽はあったものの、屋根が無いため落ち葉が長年堆積し、放水トラブルが発生したと聞く。(1)町内には同型の防火水槽は何箇所あるか

A (2)点検清掃管理は地元自治会と聞くが、点検清掃やその指導は誰か

A (1)町内には120箇所防火水槽があるが、その内39箇所は蓋の無いもので水量も20トン程度のも



防火水槽

のである。その他は40トンで蓋つきのもの。(2)点検は消防署、消防団で行い、補修は町で行う、清掃は地元自治会と管轄する分団の協力によりこれまで対応してきた。

助成処置は

清神

イノシシ被害

導入を検討、認定不可 町長

Q イノシシによる農作物の被害が年々増加傾向にある。町ではトタンや電気柵への購入補助はあるが、箱わな、くくりわなの補助は無い。(1)箱わな購入助成はできないか。(2)解体した肉は特産とし

て売買できない。柳井市の「と畜場」を解体場として認定できないか。

A (1)平成23年度に計画見直しを予定している。箱わな等の捕獲機材の導入を検討している。(2)と



箱わなで捕獲されたイノシシ

畜場法第3条で、食用に供する目的「牛、馬、豚、羊、山羊」を、と殺し解体する施設であり、イノ

シシは対象外である。条例を変えることも保健所の認定も出来ない。

対策は

岡崎南海子

車のない人の移動手段

前向きに検討中

長信町長



岡崎南海子 議員

Q 車のない人の移動手段についてこれまで何度も同じ質問をしてきた。ずっと検討中という回答だったがその後、どんな検討作業をしてきたか。どんな対策を考えているか。多様なニーズに合わせる多様な対応を望む。議会便りに再び「検討中」と書かせないでほしい。

A 9月末から10月始めに自治会長との意見交換会で意見を聞いた。コミュニティバスでなく戸口まで来る福祉タクシーのようなものが望ましい、という意見だった。送迎サービスや福祉タクシーの方向で検討する。第五次総合計画の中で議論し前向きに検討している。



平生町大野地区社協 移送サービス車 (中央)

電源3法

交付金はいくらか

向井 恒夫

本町への金額は未定

長信町長



向井 恒夫 議員

第5次総合計画

中身について尋ねる 向井

国、県との整合性を計る 町長

Q 国の法律で電源3法（発電用施設周辺地域整備法）による交付金制度がある。本町に対する金額はいくら想定されるか住民に強い関心を持たれている。町財政に与える影響は大きく健全財政を確保する観点から見通しについて伺う。

A 立地町では昨年12月に一号機の設置申請が出て、審査を経ている。平成24年6月に着工の予定である。これを受けて電源3法の規定により山口県への交付金が明らかになる。その額は、約14億円で予測される。本町に対する交付金額は今のところ明らかでない

電源3法とは
・ 電源開発促進税法
・ 特別会計に関する法律
・ 発電用施設周辺地域整備法
電源開発促進税法で得た収入を発電用施設の周辺地域における公共用施設の整備等を促進し、地域住民の福祉の向上をはかり、発電用施設の設置及び運転の円滑化に資することが目的の法律です。

Q 平成23年度から実施される新計画について、構想、事業計画の中身を尋ねる。現内閣の予算編成との整合性について困惑の状況はないか。
町民の協力と理解が不可欠と思うが、二期目の長信町政の所信を伺う。



現在の総合計画

A 町の将来像を「笑顔と元気あふれる、住みよい田布施」と掲げ策定を計る。国の新たな事業等があるが、その方向性が未定の事業も多く、今後の動向を見極める。一方県は「やまぐち未来デザイン21」を進め、住み良さ日本一の元気県づくりを掲げて、諸施策を考えており、その事業との整合性を持った計画にしたい。



町長選挙

中電は協力したか

岡崎

していない

町長

Q 私の知人は兄弟が中電の下請けをしている。知人はその兄弟から長信氏への選挙協力を頼まれたとの事。「中電全体が必死のよう」と言っていた。中電は公的色彩の企業なので問題視。町長は原発推進派と感じるのでありえる事と。その真偽を聞きたい。

A 個人的なつながりによる支援はもらったが、中国電力に選挙協力を頼んだこともないし、中国電力からそういう話を受けたこともない。個人的つながりとは中電社員の高級生や仕事関係者のことをさす。



町長選挙ポスター掲示場



耐震化が急がれる公民館



畠中 孝 議員

町政モニター制度等を 長信町長

具体的な目標は

畠中 孝

選挙公約

Q 町長は選挙にあたり五つの公約を挙げている。しかし、その内容の具体性が不十分だと思ふ。(1) 具体的に公約の目標が公表できるものがあるか。(2) 議員の提案への取り組みの経過が説明不足ではないかと考える。

光通信網

将来の構想は

畠中

政府の動向を見る

町長



インターネット環境が不十分な中央南地区

Q インターネットは現在、通信手段として主流になりつつある。見直し

(1) 将来の構想は

A (1) 政府が平成27年頃を目途に、国内のブロードバンド普及率100%にする「光の道」構想を掲げている。見通しが不明なので、今後の政府の動向を見て方向性を示す。(2) 町内全域を網羅すると5億円以上と聞いている。(3) 町内の基盤整備を検討する中で対策する。

A (1) 具体的な公約は財政的体力の維持強化、ほ場整備事業の早期着工、公民館等の耐震化の促進、城南地域総合型地域スポーツクラブ設立の支援、町政モニター制度の導入等を考えている。(2) 今後の対応を議会側と協議し、説明責任を果たしていく。

説明責任を果たしてはいかがか。

地デジ

対応を問う

畠中

辺地へは助成もある 町長

Q 来年7月にはテレビのアナログ放送が停止となり、地デジに一本化される。町内には地デジの電波を受信しにくい地域があると聞いている。

A (1) 期限延長の有無や新たな申込期限は未定だが、期限が延長された時は広報等で知らせていく。(2) 辺地共聴施設整備事業に要する経費で、自

(2) 難視聴地域への対応はいかがか。



難視聴地域の八海・鳥越地区

己負担の一定額以上は国、県と共に助成し、今度の補正予算に計上している。今後、地デジ放送の情報は広報に努める。

総務文教



総務文教委員会 (12月20日)

総務文教委員会は12月20日に開かれ、本会議にて付託された町長提出議案の予算関係1件、その他2件の合計3件を審査しました。

22年度一般会計補正予算

Q 地デジに対応するための辺地共聴施設補助の地元負担は。

A 国が3分の2補助、地元負担は世帯当たり3万5千円。他にNHK・町・県の補助もある。

Q 福祉タクシーの利用状況は。

A 障害者福祉タクシーは透析患者の増加があり、高齢者福祉タクシーは人数の増加があった。

Q 町はどの位補助するか。

A 初乗り運賃のみ補助している。

Q 一時保育の利用者増とは。

A 保護者の疾病による入院や、保育所に入れない幼児も利用できるのが、当初見込みより増加した。

Q 法人町民税を2000万円増額補正しているが、国は減税の方向だ。どういう根拠で計上したのか。

A 10月末の収入調定により計上した。

Q 田布施・平生水道企業団への補助金に対する基

本的な考え方は。

A 企業団との協定書により支出している。675万円の補助金は繰出し基準による。

Q 水道料金の値上げが出来ないから補助する。料金の値上げだけでは赤字を解消できない。早く対策を。

A 県も含め広域で協議を作り検討している。

Q 新規の子宮頸がん他2種類のワクチン接種はすべて国の補助か。

A 国2分の1、町2分の1である。

Q 新規の子宮頸がん他2種類のワクチン接種はすべて国の補助か。

A 国2分の1、町2分の1である。

Q 新規の子宮頸がん他2種類のワクチン接種はすべて国の補助か。

A 国2分の1、町2分の1である。

Q 新規の子宮頸がん他2種類のワクチン接種はすべて国の補助か。

委員会レポート

経済厚生



経済厚生委員会 (12月16日)

経済厚生委員会は12月16日に開かれ、本会議にて付託された町長提出議案の予算関係3件、その他1件の合計4件を審査しました。

22年度国民健康保険特別会計補正予算

Q 保険給付費の増額補正は、3月まで足りないという事か。

A 昨年度の実績をみて、2月診療分までを見込んでいます。

Q 増額補正は、元氣な町づくりを目指す

という事と違うのでは。A できるだけこの様な状況にならないよう努力する。

Q 高額療養費の2割増額補正は大きいのではない

A 平成20年度は多く、21年度は少なかった。いろいろな状況を考慮している。

Q 増額補正は、元氣な町づくりを目指す

Q 現在の国民健康保険税の水準で、どのくらいまでいけるのか。A 3年位はもたせたい。そうすれば新制度が始まる。

22年度下水道事業特別会計補正予算

Q 介護保険の見直しはどういう状況か。

A 国では、現在保険料の話の方が進んでおり、今後、内容がどのように決着するのかまだ分からない。

Q 介護保険の見直しはどういう状況か。

A 国では、現在保険料の話の方が進んでおり、今後、内容がどのように決着するのかまだ分からない。

公の施設の区域外設置に関する協議について

Q 光市道勝間線において今回の工事は、幅員何メートル、工期はいつまでか。

A 幅員は4メートル、全延長180メートルで今年度40メートル工事。工期は3年。

Q 増額補正は、元氣な町づくりを目指す

【全員賛成】

【全員賛成】

【全員賛成】

【全員賛成】

視察研修

総務文教

総務文教委員会は去る11月9日、広島県世羅町へ出向き、世羅高原6次産業が運営する「せら夢公園」にて研修を行った。概略は地域の農業の振興を目標とした特産品の生産、販売が活動の中心である。

本町にある地域交流館の規模を大きくした感じのもので、販売所に隣接した多目的館にて町職員による丁寧な紹介や説明が行われた。特に感心したのは、駅伝で有名な世羅高校生の「運動した後にはゴクゴク飲むものにしてほしい」とのアイデア

アを取り入れて商品化した清涼飲料水「ランニング・ウオーター」であった。味は地元特産の梨を主原料とした少し甘みのあるさっぱりとした感じであった。

約2時間活発な質疑応答が行われ、充実した研修会であった。本町の活性化に役立てたいと考えている。



せら夢公園にて研修

経済厚生

経済厚生委員会は11月8日、9日と視察研修を行った。

8日は、福岡県大木町のおおき循環センター「くるるん」を視察、その場で研修を行った。この施設は、21種類に分別されたごみの内、生ごみ、し尿、浄化槽汚泥を発酵させて有機肥料に、また、発酵時に発生するメタンガスで発電を行い、施設内の電気として利用している。有機肥料は、町民に販売し喜ばれている。



おおき循環センター「くるるん」を視察

大木町は、ごみを生かす循環の町づくりを町民と協働で進めており、平成28年度までには、ごみの焼却や埋め立てなどのごみ処理をゼロにすることを目指している。

ごみを資源としてエネルギーと有機肥料に変え有効利用している点等、参考になることが多



道の駅「童話の里くす」での研修

く、今後に活かしていきたい。

次の日は、大分県玖珠町に移動し、玖珠町役場及び道の駅「童話の里くす」で研修を行った。

同施設は、まだ出来て間もない施設だが、農産物直売所、レストラン、パン工房、ファストフード、情報コーナーなどがある。

玖珠町は、人口が減少していく状況で、盆地という条件の中、農業と豊後玖珠牛の生産地という特色を活かした町づくりを進めている。

この活動が成果を得ることを願うし、また、その過程を参考にしていきたい。

議会だより

107号を 読んでの感想です

I・Kさん (60歳代男性)

町の家計簿・決算の審議とあって、興味深く読ませていただきました。町税の10%減少や水道老朽管更新事業費に溜息をつき、委員会レポートも無理・無駄・ムラの根絶に向け、相当な議論が交わされたであろうことが伺えてよかったです。

これからも議員諸氏におかれては、しっかりと行政を管理いただきますようお願いいたします。一般質問。世間の耳目を集めている問題、高齢者不明問題・予防ワクチン・メガソーラー・エコドライブ等今後の成り行きにも注目しましょう。議員の皆さん、応援していますよ、ガンバレ！

O・Kさん (60歳代男性)

今回の議会だよりは、他県の議会議員の方が視察研修のため訪問された内容が記載されていますが、色んな事を吸収されて帰られた事と思います。

視察研修の受け入れは、どんな受け入れ積極的意見交換をはかって頂きたいと思えます。とにも、田布施町議の方も視察研修に行つて頂きたい。

とかく逆に視察に行く、すぐ金銭的に判断する方があり、趣旨がまったく理解できない方が多いのも驚きます。

田布施町議員も、もつと他県の議会に行つて交流を図つて頂き知識をひろめて田布施町の将来の為に生かして頂きたい。

N・Kさん (60歳代男性)

九月定例会の一般質問で環境美化の推進を言われていますが私もこれに賛成する一人です。私たちの周りでは、子供の花壇があり、そこに町より春と秋に配布された花苗を移植し、それが成長し、奇麗な花を咲かせ、それを見て優しい気持ちになります。花壇づくりは子供会に自治会が協力し、管理されています。咲き誇った花を見れば何

とも美しく心が和みます。このような環境美化の推進は住みよい町づくりの一つになり、とても良いことと思います。

T・Hさん (40歳代女性)

今号は、地球温暖化防止対策等いろんな意見が質問されていて良いと思います。

田布施町の桜に続いて第二の名所として彼岸花を植え、憩いの場にするという考えは良いことだと思います。昔、飢饉の時代に球根の部分は食用とされていたといま

す。今号で初めて知り、驚いたことが、田布施中学校の借地料です。町全体の借地料の約半分です。町の財政のことを考えると、早くに検討された方が良いのではないのでしょうか。

N・Kさん (50歳代男性)

今でも児童が、赤白帽子に素足で運動会をしている元気な姿は、世代が進んでも変わらない光景

にホッとします。これまでの構成とちよつと違って、一般質問のページで空白部が目立ち、その紙面の下部は窮屈に思えます。町民憲章には健康・豊かな心・暖かい家庭・相互扶助・安全安心の五つのキーワードがあるように思います。これらを政策として具体的に実現させる目標と予算事業費は

公共性・緊急性など優先度を細部まで、しっかりと議論審議は当然かと思えます。また、その執行状況は「決算審査特別委員会」で審査されるようです。全体で何件審査されたのか不詳であり、歳入出のQ&Aが3項目だけ？だったのか疑問に思っています



感想を寄せていただくモニターとの懇話会

孫との同居



清神 清

私には長男夫婦に可愛い女の子の孫がいる。二〇〇八年八月八日に生まれ不思議なことに末広がり、の八の字が多いのに驚く、さらに八人目の孫だ。

昨年秋にその孫が親子で実家へ帰って来てくれた。電化生活からいきなり、昔ながらの五右衛門風呂に戸惑っていた嫁

人生の歩み



向井 恒夫

年の暮れを迎え激動の過去を振り返る。家族、友人達の支えにより高齢の時を迎える。昔から10年一昔と言われる。自分は20×4と区割り過去の歩みを整理してみた。

の20年は町の発展を願うことから「奉仕」の現役時代として、人生の歩みを表現した。町の発展は先人達の尊い遺産とし継承されるべきと悠久の思いとし、更に栄光の結実を目標に精進を表し、更に今後の町勢の進展を望む。

議員リレー随筆

町議会広報研修

県内の町議会広報委員の研修会が、昨年11月26日山口市で開かれました。山口新聞特別編集委員の佐々木正一氏の「分かりやすさとは」と題した



広報委員研修会 (セントコア山口)

講演があり、難しい専門的な言葉より簡潔な言葉、文章は短くなど読みやすい広報づくりについて、いろいろの指導を受け、大変参考になりました。

議会を傍聴してみませんか

町議会では、町民生活に関する重要な問題が審議されています。町政に理解を深めるため、ぜひ傍聴にお越しください。定例会は3月、6月、9月、12月の年4回開催されます。

なお、定員は30名で先着順となっています。委員会も、委員長の許可を得て傍聴することができます。その他不明な点は議会事務局(☎5215800)にお問い合わせください。

3月定例会の日程

3月9日から22日まで14日間の開催予定です。正式には、3月4日開催の議会運営委員会で決定します。

編集後記

あけましておめでとうございます。昨年暮れからきびしい寒さに見舞われております。風邪やインフルエンザに注意しましょう。昔のお正月は大晦日から母がたくさんの料理を準備して元旦を迎えた。一年に一度の贅沢で、たくさんのが入った雑煮は幸せを感じさせてくれた。今はどんな料理でもスーパーに行けば簡単に手に入り、季節感を感じさせない。それだけに手作りのおせち料理が懐かしい。羽根突き、カルタ取り等の遊びも見かけなくなつて久しい。12月定例会では「第五次総合計画」の素案が提示されました。今後、意見の集約をして、3月定例会で決定するそうです。平成32年度までの十年間の田布施町の在り方が決まる重要な取り組みです。議会としても皆さんと共にしっかり提言していきたいと思ひます。

議会広報委員